

# 部活動の選択肢を広げる一助に 地域クラブでスポーツの芽を育む

多久市では、平日は各学校で、休日は「地域クラブ」で部活動ができるような体制への移行を推進しています。地域クラブとは、学校の垣根を越えた合同部活動のこと。現在は運動部について、この取り組みを進めています。

今回の特集では、地域クラブとして歩き出している  
サッカーチーム「TAKUMI FC」の事例を取り上げ、ご紹介します。

## 短く解説!

### 多久市地域運動部活動体制整備事業とは？

**Q この事業の目的は？**

**A** 子どもたちの興味・関心に沿ったスポーツに継続して励める環境の確保です。さらに、頑張る子どもたちの姿をとおした地域活性化もめざしています。

**Q これからどう進めていく？**

**A** 令和5年度から6年度を「改革推進期間」と位置づけ、来年度から休日は地域クラブへと完全移行できるよう取り組んでいます。



## 休日の運動部活動を地域で支える

全国的に少子化が進む昨今、学校部活動の部員減少が大きな課題となっています。チームプレーが必要な部では、大会出場はおろか、練習さえままならないことも。また、廃部などにより活動そのものが難しい場合も少なくありません。

多久市でも同様の問題が浮上しており、国や県の取り組みに先んじて、平成28年度から部活動のあり方について検討を始めました。以降、多久市スポーツピアとの連携のあり方やスクールバスの活用を模索するなど、休日における運動部活動の地域移行を進めてきました。

令和5年度からは「多久市地域運動部活動体制整備事業」に取り組み、通う学校に関わらず、休日のみ地域クラブで一緒にスポーツに励むことができるような体制づくりを進めています。

この体制が整えば、これまでは年ごとに合同チームを作って活動していた部も毎年同じチームとして練習し、大会に出場することが可能になります。また、地域の競技指導者に関わるので専門的な練習ができることも期待されます。平日はこれまで通り各学校で活動します。休日を含め、活動時間や休養日など、ガイドラインに沿った活動を進めることで子どもたちの健康面にも配慮しています。

いつの時代も変わらない、子どもたちの「やりたい!」を叶えるために進めます。多くのみなさんのご協力を得ながら、これからも新たな形でのサポートを推進します。



## 移行に取り組む学校部活動

休日の活動の地域移行をめざす指導体制を整備して持続可能なスポーツ環境をつくっていきます。

### バレーボール

顧問を中心に  
2校・3校合同で活動。

### ハンドボール

外部指導者、  
顧問を中心に活動。

### ソフトテニス

地域指導者(部活動指導員)、  
顧問を中心に活動。

### 卓球

部活動指導員、  
顧問を中心に活動。

### サッカー

地域指導者(部活動顧問)、  
顧問を中心に活動。

### 剣道

地域指導者(部活動指導員)、  
顧問を中心に活動。

### ソフトボール

外部指導者、  
顧問を中心に活動。

### 軟式野球

地域指導者(教員)を中心に、  
3校合同で活動。

